

これが受験の時の第一印象**～ 進路用写真撮影～**

来週の11月9日（月）に進路の願書等に貼る写真を撮影します。

服装をチェックしておいてください。ブレザーとポロシャツのボタンは全部付いていますか？ 髪は黒くなっていますか？ 黒彩はすぐにわかってしまいます。名札はありますか？

みなさんが受験する高校等から見ると、この写真は名前と合わせて見る初めての顔で、第一印象となり、その人の生活態度をチェックする1つの関門となります。

装飾品はすべてとります。カラー写真ですので化粧は分かります。女子で髪が肩に掛かる人は、三つ編みか目立たないゴム紐で束ねるとよいでしょう。男子も髪が長い人は、床屋に行ってさっぱりしてきましょう。



撮影時、ブレザーの下にはセーター等は着ないでください。ブレザーやポロシャツのボタンは一番上まで留めます。ポケットからペンなどがのぞかないようにしてください。

不備のある人は撮影できません。守口の写真屋さんの店まで撮影に行ってもらふことになります。

撮影前に担任の先生から封筒が配られます。これは写真屋さんが名前と写真を合わせるもので、名前を書いて撮影時に写真屋さんに渡してください。また、できあがった写真はこの封筒に入れられますので、折り曲げたりしないでください。

1時間目から3時間目にかけて、1組から出席番号順に、図書室で撮影します。撮影料は、生徒費としてすでに保護者の方からいただいています。

体験入学などの申し込みは期日を守って…

1 1月5日から進路懇談が始まっています。中学校卒業後3年間（高等専門学校だと5年間）通うことになるのですから、自分の希望や状況、合格の可能性を考えながら一番適した受験校を決めてもらいたいと思います。

そのためにも受験を希望する（あるいは検討している）学校が開く体験入学やオープンスクール、受験相談会などに必ず行っておきましょう。

中学校を通じて申し込む場合は、担当の藤原先生、向田先生のところに行って「体験入学等 参加申込書」をもらって必要事項を書いて提出します。

2学期になって体験入学などに参加する人も増えていますが、中には締め切りを過ぎてしまってから申し込みをしようとする人がいました。高校の締め切り日を過ぎてしまったので残念ながら受け付けてもらえなかった人もいます。

受験をしようとする進路先を知るせっかくの良い機会ですので、締め切り日には必ず間に合うようにしてください。

公立高校入試の自己申告書のテーマが決定しました

公立高校の特別選抜、一般選抜をはじめとした受験の時に受験生が自分で書いた自己申告書を提出します。

特別入学者選抜（2月）の全日制の課程総合学科（デュアル総合学科及びエンパワーメントスクール）ではまずはじめに面接と自己申告書と調査書（活動／行動の記録）の比率を2：1：1として最大募集人員の50%の合格者が決定します。その他の特別入学者選別と一般入学者選別（多くの普通科や工業科や商業科など）ではボーダーゾーン（高校の定員の90%から110%）の受験生の合否決定の資料になります。

自己申告書は、各高校のアドミッションポリシー（求める生後像）に基づいて、次のテーマで書きます。そしてアドミッションポリシーによく合致した受験生が優先して合格する、という手順になります。

アドミッションポリシーはすべての公立校でそれぞれ違います。すでに7月から3年生の各クラスに置いてあります。担任も持っています。受験を希望する高校のアドミッションポリシーを確認しておきましょう。

【テーマ】

あなたは、中学校などの生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。